

第2期津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

改訂の理由

本市の総合戦略は、令和2年2月に第2期を策定し、令和3年3月に一部改訂をしている。近年の社会情勢やひと・しごとの流れの変化を踏まえた改訂が必要。

国の方針・計画

国は、令和2年12月に、感染症の影響を踏まえ、新しい地方創生の実現に向けた今後の政策の方向性を打ち出すため、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改定を行った。令和3年6月には、新しい3つの視点として「ヒューマン、デジタル、グリーン」を重点としたまち・ひと・しごと創生基本方針2021が示され、地方創生への取組のバージョンアップを図っている。

主な改訂内容

1. 第2期戦略の取組における3つの重点項目の設定

第2期戦略の基本目標の達成に向けて、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や基本方針を踏まえ、3つの項目「ヒューマン、デジタル、グリーン」を重点に据え、取り組むこととする。

- ・ヒューマン（地方への人の流れの創出、人材支援など）
- ・デジタル（デジタル社会の推進）
- ・グリーン（脱炭素社会に向けた取組の推進）

2. 生涯活躍のまち（誰もが活躍する地域社会）の推進

国の戦略の方針に沿い、重点項目のヒューマン部分として「誰もが活躍する地域社会の推進」を図り、「生涯活躍のまち」として、都市と地方の人材循環を通じた「人の流れづくり」を創出する。

- ・津山まちじゅう博物館構想・中心市街地の賑わい創出と地域経済の活性化
- ・Welcome to tsuyama 留学生交流・サポート事業・健康寿命の延伸
- ・健康ポイント事業の推進・コミュニティバス車両の快適性利便性の向上
- ・公共交通ICカード決済化等の推進・デジタルデバイド対策事業 など

3. その他事業の見直しに伴うKPIの追加・変更など

- ・地域商社機能の構築に向けた取組
地域商社の新規販路開拓件数 5件(令和2年度)⇒15件(令和6年度)
地域商社の取り扱い商品種別 28件(令和2年度)⇒43件(令和6年度)
- ・ブドウの産地化に向けた支援
ブドウの販売額 9,300万円(平成30年度)⇒2億2,200万円(令和6年度)など